

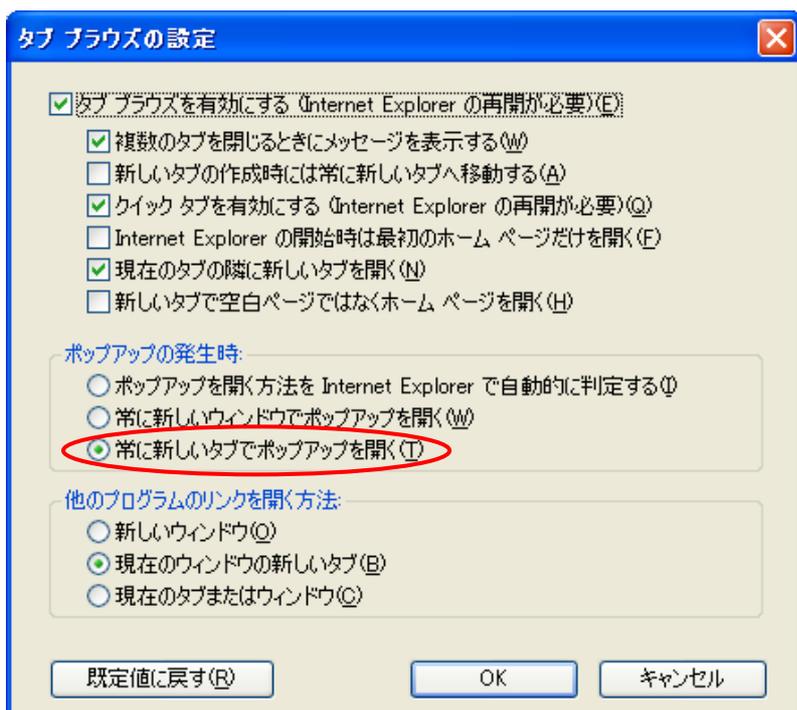
# Internet Explorer 7 のタブ機能の使用について

2008年3月6日  
コアシステムサービスセンタ

Internet Explorer 7 のタブ機能を使用する場合の注意事項について説明します。

## 1. 事象

ブラウザメニューの[ツール] - [インターネットオプション] - [タブ]の「タブブラウズの設定」で「常に新しいタブでポップアップを開く」(下図参照)を設定すると、トップ画面から選択して起動する電子入札システム機能と利用者登録機能が従来のブラウザでは別々のウィンドウで表示されていたのが、次頁の<発生画面>のように同一ブラウザ内のタブとして表示されるようになります。



上図の「ポップアップの発生時」の既定値は「常に新しいウィンドウでポップアップを開く」に設定されています。

< 発生画面 >

トップ画面

電子入札システムと利用者登録両画面が同一ブラウザ内にタブで表示されるようになる

それぞれのタブをクリックすると従来のブラウザでは別々のウィンドウで表示されていた各業務画面が表示される

電子入札システム画面

利用者登録画面

コアシステムではトップ画面から起動する電子入札システム機能と利用者登録機能を同時に起動し、平行して操作することは、一方の操作によって生成されるブラウザ内部の保持情報の影響により他方が誤動作する可能性があるため、一切禁止しております。

このため、Internet Explorer 7 のタブ機能を用いて電子入札システム機能（上図）と利用者登録機能（上図）を同一ブラウザ内のタブに表示させた状態においても、両方の業務機能を平行して操作することはできません。

## 2. 対処方法

本事象への対処方法として以下の2通りの方法がございます。

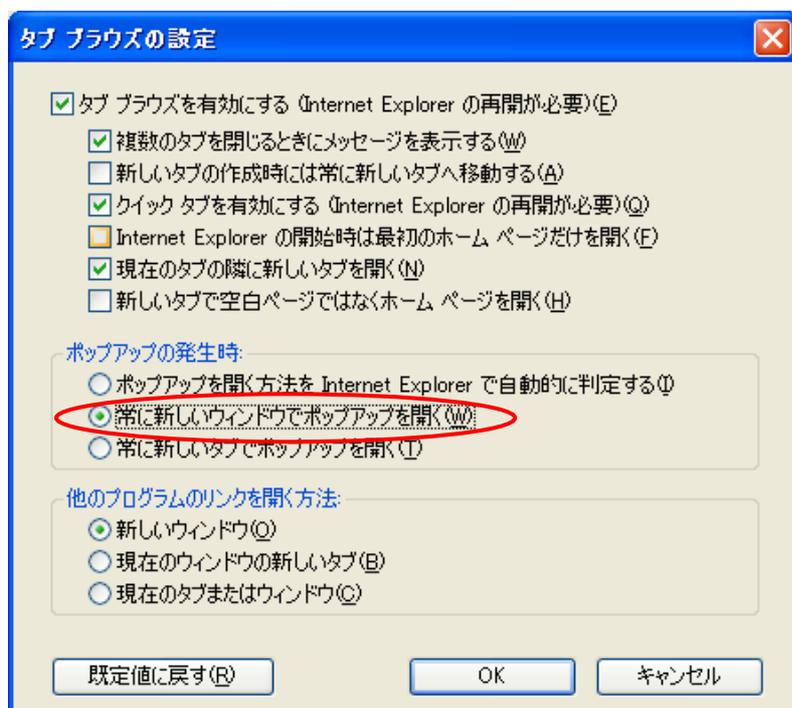
タブブラウザの設定を IE7 の既定値に戻して、従来のブラウザと同様にトップ画面と業務画面が別のブラウザで開くように設定しておき、電子入札システム画面または利用者登録画面のいずれか一方の機能のみを起動して操作する

電子入札システム画面と利用者登録画面のいずれか一方のみを起動して操作する(タブ表示が可能であっても起動する業務機能は1つにする)

特別な事情がない限り の方法でご対応いただくことをお奨めします。

### 2.1. 対処方法 におけるコアシステムの操作例

ブラウザメニューの[ツール] - [インターネットオプション] - [タブ]の「タブブラウザの設定」で「常に新しいウィンドウでポップアップを開く」を設定します。



上記設定を行うことで、電子入札システム画面、または利用者登録画面を開く際は次頁の<オプション設定変更後の画面表示>のように従来のブラウザと同様に別ブラウザで表示されるようになります。

< オプション設定変更後の画面表示 >



電子入札システム画面



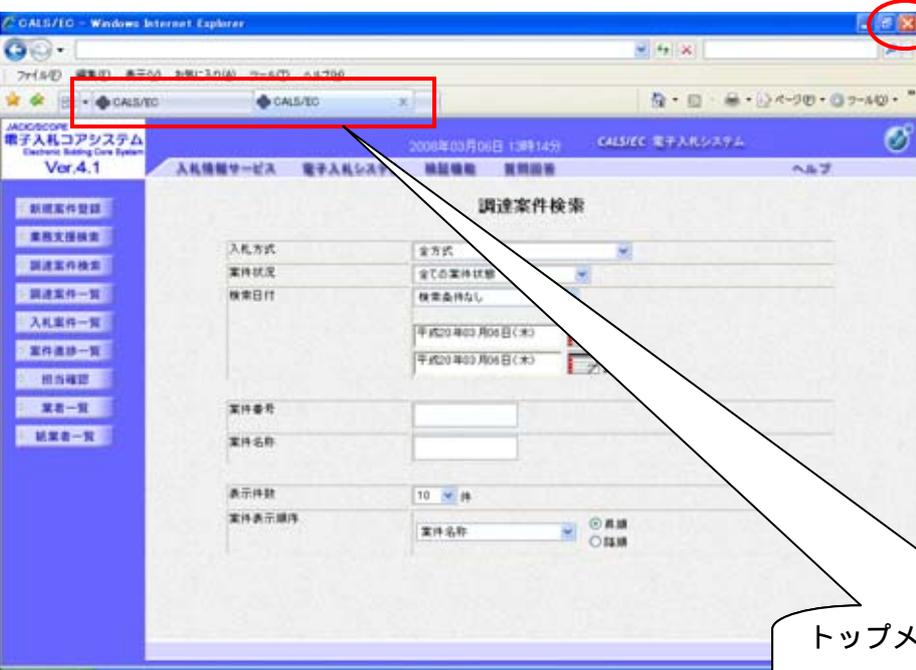
利用者登録画面



## 2.2. 対処方法 におけるコアシステムの操作例

1つのブラウザ画面に対し電子入札システム機能または利用者登録機能いずれか一方のみ起動し、他方を起動する際は、ブラウザの「×」ボタンにて一旦全てのブラウザを閉じ、再度ブラウザを起動してから起動するようにします。

< 画面操作例 >



一方の業務機能のみを起動し、操作完了後は「×」ボタンで一旦全てのブラウザを閉じる

トップメニューと1つの業務画面のみがタブで表示される



再度ブラウザを起動してから他方の業務機能を起動する

以上